



福井赤十字病院 図書室

としよだより

2023 新緑号



今号よりモノクロになりました。
カラー版は図書室にて掲示しております。



特集

病院図書室へようこそ！

何がある？何ができる？



皆さんこんにちは！医療情報課・図書室スタッフです。新年度を迎え、新しく病院のスタッフに加わった皆様、「前からいるけど図書室行ったことないですわ」という方々のために今いちど図書室の紹介をさせていただきたいと思います。「図書室に何があるの？」「なんかしてくれるん？」といった疑問に写真付きで図書室を紹介させていただきます。忙しい毎日だと思いますが、ぜひ図書室を活用してやってくださいね！

① 図書室なので、本の閲覧・貸し出しが出来ます。

あまりにも当たり前すぎて、大きな声で言うほどの事ではありませんが…図書室では各種医学雑誌・看護雑誌の閲覧や貸し出しが出来ます（医学雑誌34種・看護雑誌22種・リハビリ関係4種・その他6種）。また、ちょっとした気分転換になるような読みやすい書籍なども取り揃えております。雑誌は2005年以降に購入していたもののバックナンバーが保管されており、その他赤十字関連書籍・他院の病院医学雑誌なども保管されています。



今年入庫した看護雑誌



今年入庫した医学雑誌



ここで貸出票を記入します



面白い本もたくさん！

② パソコンを使って情報収集や文献の閲覧が出来ます。

図書室には共有のPCがありますので、それぞれ入職時に与えられたIDとパスワードを用いてPCを利用する事が出来ます。病院HPから「電子図書館」ページへ移動します。その中で医中誌（国内文献検索）やPubMed（洋論文検索）による文献単位での検索、そして契約中の電子ジャーナルを閲覧する事が出来ます。当院にて閲覧が出来ない、または本の所蔵がない文献に関しては取り寄せを依頼する事が出来ます。取り寄せに関しては別途マニュアルを準備しておりますし、直接図書室に連絡いただいても対応は可能です。また院内のWi-Fiを利用する事で、同様の操作を個人端末にて行うことも可能です。



共用のパソコンです。



閲覧した文献を印刷もできます。



書庫には2005年以降購入の雑誌もたくさんあります。

ええやん
ええやん



③ これらの事に関して出来る限りお手伝いします！

いや、そう言われましても、どこに何の本があるやら…どうやって文献を探したらいいのか…パソコンの操作とか、検索の仕方がまいちわからないですわ…という方も少なくないかもしれません。そんな時はどうするものか…危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし…迷わず聞けよ、聞けばわかるさ！という事で、何でも図書スタッフにお尋ねください。少しでもお探しの情報にたどり着けるように、微力ながらお手伝いをさせていただきます。

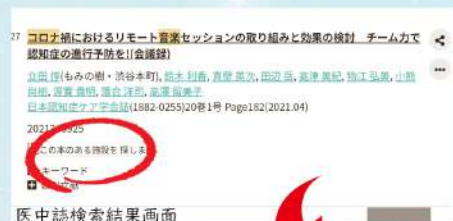
まずはお気軽に図書室に足を運んでいただいて（皆さんお忙しいのは重々承知しておりますが）なんとなく「こんな本があるんやな、と認識していただき、いざという時にご活用していただければと思います！



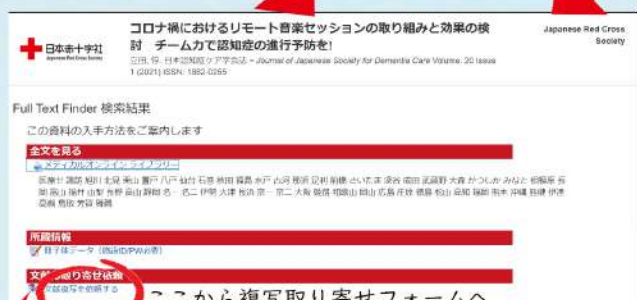
お知らせ

検索ツールからの複写依頼フォームが変わりました！

医中誌・PubMed検索結果画面から複写依頼する際に遷移する蔵書システムが変わりました。運営会社の変更に伴うものですが、ほぼ依然と同様に複写依頼（閲覧が出来るものは閲覧も）していただけます。念のため、依頼方法を説明いたします。



①医中誌・PubMedそれぞれの検索結果画面の「この本のある施設を探します（医中誌）」「JRC Click!(PubMed)」より複写依頼フォーム（所蔵情報データ）へ移動します。ここまでは従来と変更ありません（〇箇所から移動）



ここから複写取り寄せフォームへ

利用者ルール

- ・全十字職員は、所蔵情報データベースでの登録情報を取り扱っているためご了承ください。
- ・メールアドレスが不明な場合は、プルダウンにて所属病院名を選択して送信ボタンを押してください。
- ・メールアドレスが不明な場合は、この画面も印刷して、図書館に届けてください。
- ・全十字職員は、図書館の全十字職員に文書依頼することはできません。

個人情報

氏名
所属
所属名
Email Address
Phone

送り先
Delivery

商品情報

タイプ
論文タイトル
ジャーナル名
巻
号
日付
年
月
日
DOI
ISSN
ISSN
PubMed ID
SID

必要事項をすべて記入したら「送信」

②Full Text finder検索結果ページです。

当院で電子ジャーナルが見られるものはこのページからリンクされていますし、当院で閲覧が出来ない文献に関しては図書室に複写を依頼していただく形になります。図書室に複写を依頼するには、このページの「複写を依頼する」より依頼フォームへ移動します。

③こちらが依頼フォームの画面になります。

・送信先は必ず「福井赤十字病院図書室」あてでお願いします。ここを間違えると、図書室に依頼メールが届きません。

・名前、所属など依頼者情報をご記入ください。メールアドレス記入が必須になっておりますが、メールにてこちらから連絡をすることは原則ございません。電カルメールか内線で連絡（あれば）しますので、捨てアドを記入いただければ結構です。

・医中誌・PubMedで検索した結果は、Full Text Finder経由で文献情報が転記されます（改めての記入の必要はありません）

文献の取り寄せには数日～1週間ほどかかるよ！職員は料金がわからないけど、その代わりに似た文献を片っ端から複写依頼せず、吟味して必要な文献を取り寄せてください！



おまけコラム

図書系の独り言

第？回「未来は僕らの手の中」



鮮やかなピンク色のエレキベース。モノクロ印刷だからわからないけど。

皆様、大変ご無沙汰しております。いつ以来やらの「としよだより」となりました。決してやめちゃっていたわけでもなく、単に入院したり、手術したり、契約業務に頭を悩ませたり、入院したり、また入院したりしてただけです。入院ばっかじゃないですか、僕。でも元気です。

5/8に新型コロナウイルスが5類相当に変更となり、街ゆく人はすっかり開放モード。マスク着用しない人も日に多く見かけるようになりました。行楽地は人であふれ、イベントも以前のように制限なしでの開催が多くなってきました。声出し応援の解禁とか。

でも、僕ら病院職員は、また僕のような病人は相変わらず同じように対策を継続していく必要がありますよね。個人的には当然だと考える半面、どこか世間に取り残されてしまったような感覚も同時に覚えてしまいます。みんなは寂しくないですか？僕は寂しいです。とても。

そんな中、それでもできる限り用心しながら久しぶりに音楽活動を再開させました。バンドです。しかも顔に似合わずパンクバンドです（笑）やかましいです。でも最高です。

失った時間は取り戻せません。この先に何が起るかなんて誰にもわかりません。それでも僕は自分の中の明るさを失いたくないので大きな声で、へたくそな歌を歌います。まだしばらくは医療従事者の、病人の苦悩は続くと思います。でもそんな中でも自分が希望を感じる何かを見つけるべきだと思うんです。いつの日か僕らが心から笑えるように。道は険しくとも、笑いながら歩きましょう！